



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 ジオマテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6907 URL <https://www.geomatec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 松崎 建太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員兼CFO (氏名) 河野 淳 (TEL) 045-222-5720  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,605	△20.8	△655	—	△552	—	△1,669	—
2023年3月期	5,812	△0.6	66	△69.8	140	△57.2	△366	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△211.05	—	△17.8	△3.4	△14.2
2023年3月期	△46.27	—	△3.6	0.8	1.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	15,184	8,652	57.0	1,093.84
2023年3月期	17,425	10,133	58.2	1,281.10

(参考) 自己資本 2024年3月期 8,652百万円 2023年3月期 10,133百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△959	△1,218	82	3,691
2023年3月期	306	△42	△78	5,774

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	△0.2	△110	—	△90	—	△95	—	△12.01
通期	5,200	12.9	20	—	60	—	49	—	6.19

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	9,152,400株	2023年3月期	9,152,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期	1,242,116株	2023年3月期	1,242,116株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	7,910,284株	2023年3月期	7,910,284株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、決算短信添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、2024年5月15日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(貸借対照表に関する注記) .....	12
(損益計算書に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、サービス消費やインバウンド需要の増加により景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の深刻化による地政学リスクの高まりや中国の景気回復の遅れ、円安の継続による資源価格高騰が懸念されるなど先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社を取り巻く事業環境は、半導体供給不足が徐々に緩和され回復への動きはみられるものの、当社の取引先である部品メーカーにおいて生産拠点集約による受注量の減少や、車載用部品の生産調整が継続し本格的な回復には至らなかったことから厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は4,605百万円（前期比20.8%減）となりました。損益につきましては、ディスプレイ、モビリティ向け製品の売上が990百万円減少し生産性・生産効率が悪化した結果、営業損失は655百万円（前期は66百万円の営業利益）、経常損失は552百万円（前期は140百万円の経常利益）となりました。

また、最近の事業環境の変化を踏まえ、今後の事業計画及び回収可能性を検討した結果、金成工場においては、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額1,091百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。この結果、当期純損失は1,669百万円（前期は366百万円の当期純損失）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社は、成膜加工関連事業の単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

#### (ディスプレイ)

液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、前年度に一部の取引先が生産拠点の集約を実施したこと、その他部品メーカーにおいても生産調整が継続していることから引き続き厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は1,448百万円（前期比31.3%減）となりました。

#### (モビリティ)

モビリティ向け薄膜製品は、主力製品である自動車向けカバーパネルにおいて、前年度主流で流れていた機種への生産計画のピークが過ぎたこと、部材メーカーでの在庫調整の回復のペースが鈍いことから引き続き低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,489百万円（前期比18.2%減）となりました。

#### (半導体・電子部品)

半導体・電子部品向け薄膜製品は、生産機械向け電子部品の受注は引き続き低調に推移いたしましたが、半導体分野向けテストウェハや次世代エネルギー向け部品の受注は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,224百万円（前期比6.9%増）となりました。

#### (その他)

その他につきましては、多種多様な製品向けに販売活動に取り組みましたが、設備投資や開発投資環境が弱含んで推移したことから関連する製品・試作案件への受注が低調に推移したことや、成膜関連部材での販売が減少したことから厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は443百万円（前期比40.0%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末に比べ2,240百万円減少し、15,184百万円となりました。これは主に、流動資産では現金及び預金が1,583百万円、有価証券が500百万円減少し、固定資産では有形固定資産が516百万円減少し、投資有価証券が478百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ759百万円減少し、6,531百万円となりました。これは主に、流動負債の支払手形及び買掛金が748百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ1,481百万円減少し、8,652百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,669百万円減少し、その他有価証券評価差額金が188百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.0%、1株当たり純資産額は1,093円84銭となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2,083百万円減少し、3,691百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

#### (営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は959百万円（前期は306百万円の獲得）となりました。

これは主に、税引前当期純損失が1,658百万円となったものの、減価償却費343百万円、減損損失1,091百万円など

の資金流出を伴わない費用があったことや、仕入債務の減少748百万円の資金減少要因があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,218百万円(前期比2,798.8%増)となりました。

これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入529百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出940百万円、投資有価証券の取得による支出801百万円があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は82百万円(前期は78百万円の使用)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入900百万円と長期借入金返済による支出816百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	58.2	57.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	24.3	26.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.8	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	26.4	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

#### (4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、景気は引き続き緩やかな回復が継続すると見込まれていますが、中国経済の減速、中東やウクライナ情勢による地政学リスクの高まり、過度な円安による国内経済への影響が懸念されるなど先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社は既存商材の競争環境を見極めながら販売活動に取り組むとともに、薄膜加工技術も含めたソリューションサービスの提供など従来の薄膜受託加工とは異なるビジネス展開を実施することで売り上げの回復に努めるとともに、更なる生産性の向上、間接業務の削減など固定費の圧縮を推し進め収益の改善に取り組んで参ります。

2025年3月期の見通しにつきましては、モビリティ向けの受注回復のペースは引き続き厳しい状況が予想されますが、ディスプレイ向けではタッチパネル用導電膜で受注回復が見込まれることや、その他の品目においてソリューション取引での受注を獲得したことから売上高の増加を見込んでおります。

このような状況を踏まえ2025年3月期の売上高見通しは、5,200百万円を想定しております。損益見通しにつきましては、固定資産の減損処理に伴う償却費の減少に加え、諸施策の実施により固定費を圧縮し収益の改善に取り組むことから、営業利益は20百万円、経常利益は60百万円、当期純利益は49百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,274,994	3,691,735
受取手形	81,007	79,731
電子記録債権	560,244	560,930
売掛金	3,964,802	3,902,112
有価証券	500,000	—
商品及び製品	685	11,004
仕掛品	421,996	567,694
原材料及び貯蔵品	1,836,388	1,595,162
前払費用	55,300	43,051
未収入金	2,425	62,262
その他	27,333	74,112
貸倒引当金	△439	△350
<b>流動資産合計</b>	<b>12,724,737</b>	<b>10,587,448</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	8,388,458	8,239,884
減価償却累計額	△7,930,169	△7,906,924
建物(純額)	458,288	332,959
構築物	497,243	389,444
減価償却累計額	△493,870	△374,564
構築物(純額)	3,372	14,879
機械及び装置	18,612,316	17,724,948
減価償却累計額	△17,660,117	△17,540,849
機械及び装置(純額)	952,199	184,099
車両運搬具	24,604	24,041
減価償却累計額	△23,947	△24,041
車両運搬具(純額)	657	0
工具、器具及び備品	1,029,021	915,277
減価償却累計額	△965,719	△865,597
工具、器具及び備品(純額)	63,302	49,680
土地	1,084,198	896,587
リース資産	5,952	1,884
減価償却累計額	△694	△1,884
リース資産(純額)	5,257	0
建設仮勘定	18,896	591,567
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,586,172</b>	<b>2,069,773</b>
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	75,594	141,975
その他	6,252	9,333
<b>無形固定資産合計</b>	<b>81,847</b>	<b>151,308</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	1,371,264	1,849,482
従業員に対する長期貸付金	31,716	22,350
長期前払費用	22,975	7,907
敷金	118,113	68,299
保険積立金	477,841	417,468
その他	11,498	10,500
貸倒引当金	△1,005	△4
投資その他の資産合計	2,032,402	2,376,003
固定資産合計	4,700,422	4,597,085
資産合計	17,425,160	15,184,533

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	177,112	11,139
買掛金	4,183,781	3,601,586
1年内返済予定の長期借入金	773,072	804,056
リース債務	1,270	1,301
未払金	131,384	129,150
未払費用	150,410	142,055
未払法人税等	36,832	52,799
契約負債	16,604	8,149
預り金	10,224	11,937
賞与引当金	117,805	112,677
設備関係支払手形	17,449	—
その他	79,673	12,197
流動負債合計	5,695,621	4,887,050
固定負債		
長期借入金	1,304,408	1,356,952
リース債務	4,693	3,392
繰延税金負債	15,373	11,967
退職給付引当金	247,765	255,647
役員退職慰労引当金	5,100	5,100
資産除去債務	18,317	11,852
固定負債合計	1,595,657	1,644,911
負債合計	7,291,279	6,531,962
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金		
資本準備金	8,297,350	8,297,350
資本剰余金合計	8,297,350	8,297,350
利益剰余金		
利益準備金	182,170	182,170
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,246,049	△2,915,541
利益剰余金合計	△1,063,879	△2,733,371
自己株式	△1,311,155	△1,311,155
株主資本合計	9,966,164	8,296,673
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167,715	355,898
評価・換算差額等合計	167,715	355,898
純資産合計	10,133,880	8,652,571
負債純資産合計	17,425,160	15,184,533

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,812,063	4,605,542
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	3,487	685
当期商品仕入高	158,418	86,187
当期製品製造原価	4,227,483	3,869,298
合計	4,389,389	3,956,171
他勘定振替高	4,925	6,000
商品及び製品期末棚卸高	685	11,004
売上原価合計	4,383,778	3,939,167
売上総利益	1,428,284	666,375
販売費及び一般管理費	1,362,041	1,322,074
営業利益	66,242	△655,699
営業外収益		
受取利息	6,244	4,473
受取配当金	10,767	20,649
為替差益	39,870	14,235
投資事業組合運用益	—	13,106
不動産賃貸料	5,320	4,800
設備賃貸料	5,401	11,501
その他	25,284	53,920
営業外収益合計	92,888	122,688
営業外費用		
支払利息	11,399	14,529
固定資産除却損	—	2,447
支払補償費	2,184	—
和解金	2,947	—
その他	1,666	2,840
営業外費用合計	18,198	19,818
経常利益	140,932	△552,829
特別利益		
固定資産売却益	—	101
投資有価証券売却益	—	8,292
特別利益合計	—	8,394
特別損失		
減損損失	—	1,091,732
固定資産除売却損	—	22,506
事業譲渡損	493,295	—
特別損失合計	493,295	1,114,239
税引前当期純損失(△)	△352,362	△1,658,674
法人税、住民税及び事業税	13,640	10,816
法人税等合計	13,640	10,816
当期純損失(△)	△366,002	△1,669,491

製造原価明細書

		前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I	材料費	779,394	18.3	924,052	23.0
II	労務費	1,841,365	43.2	1,712,321	42.6
III	経費	1,641,976	38.5	1,378,623	34.3
	(うち減価償却費)	(321,852)	(7.6)	(304,594)	(7.6)
	(うち外注加工費)	(294,561)	(6.9)	(119,604)	(3.0)
	(うち電力料)	(624,572)	(14.7)	(526,764)	(13.1)
	当期総製造費用	4,262,736	100.0	4,014,997	100.0
	仕掛品期首棚卸高	386,742		421,996	
	合計	4,649,479		4,436,993	
	他勘定振替高	-			
	仕掛品期末棚卸高	421,996		567,694	
	当期製品製造原価	4,227,483		3,869,298	

(注) 原価計算の方法は、予定原価に基づく総合原価計算を採用しており、期末において原価差額を調整して実際原価に修正しております。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰 余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計
当期首残高	4,043,850	8,297,350	8,297,350	182,170	△880,046	△697,876
当期変動額						
当期純損失 (△)					△366,002	△366,002
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	△366,002	△366,002
当期末残高	4,043,850	8,297,350	8,297,350	182,170	△1,246,049	△1,063,879

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,311,155	10,332,167	80,492	80,492	10,412,659
当期変動額					
当期純損失 (△)		△366,002			△366,002
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			87,223	87,223	87,223
当期変動額合計	—	△366,002	87,223	87,223	△278,779
当期末残高	△1,311,155	9,966,164	167,715	167,715	10,133,880

当事業年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰 余金	利益剰余金 合計
当期首残高	4,043,850	8,297,350	8,297,350	182,170	△1,246,049	△1,063,879
当期変動額						
当期純損失 (△)					△1,669,491	△1,669,491
株主資本以外の項目の当期変動額 (純 額)						
当期変動額合計					△1,669,491	△1,669,491
当期末残高	4,043,850	8,297,350	8,297,350	182,170	△2,915,541	△2,733,371

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,311,155	9,966,164	167,715	167,715	10,133,880
当期変動額					
当期純損失 (△)		△1,669,491			△1,669,491
株主資本以外の項目の当期変動額 (純 額)			188,182	188,182	188,182
当期変動額合計		△1,669,491	188,182	188,182	△1,481,309
当期末残高	△1,311,155	8,296,673	355,898	355,898	8,652,571

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純損失(△)	△352,362	△1,658,674
減価償却費	364,083	343,510
減損損失	—	1,091,732
固定資産除却損	—	22,506
固定資産売却損益(△は益)	—	△101
事業譲渡損益(△は益)	493,295	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,292
投資事業組合運用損益(△は益)	406	△13,106
貸倒引当金の増減額(△は減少)	40	△1,088
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,599	△5,127
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,973	7,882
受取利息及び受取配当金	△17,012	△25,123
支払利息	11,399	14,529
為替差損益(△は益)	△3,805	△12,457
売上債権の増減額(△は増加)	923,618	55,822
棚卸資産の増減額(△は増加)	△660,111	85,208
その他の資産の増減額(△は増加)	21,437	19,260
仕入債務の増減額(△は減少)	△454,582	△748,168
未払消費税等の増減額(△は減少)	129,597	△123,190
その他の負債の増減額(△は減少)	△136,060	△3,565
その他	—	2,447
小計	314,318	△955,994
利息及び配当金の受取額	17,472	24,777
利息の支払額	△11,618	△14,881
法人税等の支払額	△13,640	△13,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	306,532	△959,737
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△789,481	△940,673
有形固定資産の売却による収入	—	270
無形固定資産の取得による支出	△12,128	△71,192
投資有価証券の売却及び償還による収入	105,260	529,165
投資有価証券の取得による支出	—	△801,207
資産除去債務の履行による支出	—	△6,464
事業譲渡による収入	361,409	—
従業員に対する貸付けによる支出	△17,320	△9,849
従業員に対する貸付金の回収による収入	18,629	21,345
保険積立金の積立による支出	△8,395	△79,902
保険積立金の解約による収入	—	140,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,025	△1,218,234
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	650,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△727,381	△816,472
リース債務の返済による支出	△623	△1,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,004	82,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,805	12,457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	190,306	△2,083,258
現金及び現金同等物の期首残高	5,584,687	5,774,994
現金及び現金同等物の期末残高	5,774,994	3,691,735

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
売掛金	3,088,190千円	2,981,502千円
仕掛品	258,232	331,465
原材料及び貯蔵品	580,087	145,583
買掛金	4,010,342	3,506,256

(損益計算書に関する注記)

減損損失

当事業年度(自2023年4月1日至2024年3月31日)

当事業年度において、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	場所	種類	減損損失
製造設備	金成工場(宮城県栗原市)	機械装置、建物及び土地等	1,091,732千円

資産のグルーピングについては、継続して収支を把握している工場単位を基礎に行っております。また、賃貸用資産、遊休資産については、個々の物件を資産グループとしております。

当社は、事業環境の変化に伴い、収益性が低下していること等により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、上記減損損失の内訳は、建物189,253千円、機械及び装置663,951千円、車両運搬具270千円、工具、器具及び備品33,356千円、土地187,610千円、リース資産4,067千円、建設仮勘定13,222千円であります。

また、回収可能価額は正味売却価額により算定しており、正味売却価額の算定方法は不動産鑑定評価基準等を用いた時価から処分費用見込額を控除して算定しております。

(持分法損益等)

関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、成膜加工関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,281.10円	1,093.84円
1株当たり当期純損失(△)	△46.27円	△211.05円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純損失(△) (千円)	△366,002	△1,669,491
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△) (千円)	△366,002	△1,669,491
普通株式の期中平均株式数(株)	7,910,284	7,910,284

(重要な後発事象)

該当事項はありません。